

資料 2

# 福島第一原子力発電所の敷地境界外に影響を 与えるリスク総点検に関わる対応状況

2019年3月19日

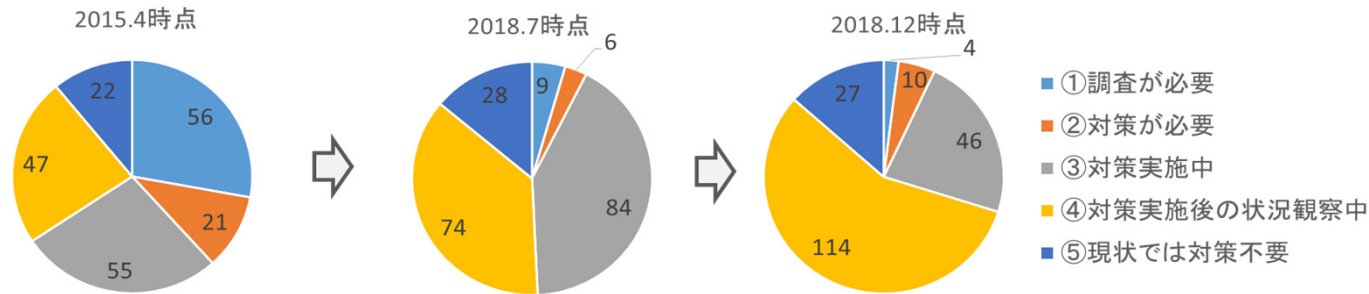
**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

# 概要

- 2015年4月、液体及びダストを中心に敷地境界外に影響を与える可能性があるリスクを広く対象としたリスク総点検を実施し、リスク低減対策の取組みは、環境変化等を反映し適宜見直しを行っている。



- 対策実施中の案件のうち、以下の個別件名について状況報告する。
  - No.63 「各瓦礫類一時保管エリア」

リスク総点検管理番号	リスク存在箇所	リスク内容	対応概要	対応状況
63	各瓦礫類一時保管エリア	瓦礫類に付着した放射性物質が、降雨時に瓦礫表面から雨水へ移行し、側溝等（地下浸透含む）を經由して環境へ放出される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時保管エリアCの保管物整理（2016年6月～）</li> <li>一時保管エリアCのシート養生実施中（2018年3月～）</li> <li>降雨時のモニタリング開始（2018年5月～）</li> </ul>	対策実施中

# 1. 一時保管エリアCのシート養生の進捗状況

一時保管エリアCのシート養生は、3月5日に完了した。



写真1 全景



写真2 養生エリア①②  
作業完了



写真3 養生エリア③  
作業完了



写真4 養生エリア④  
作業完了



写真4



写真5-1 土側溝 (作業前)

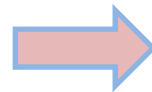
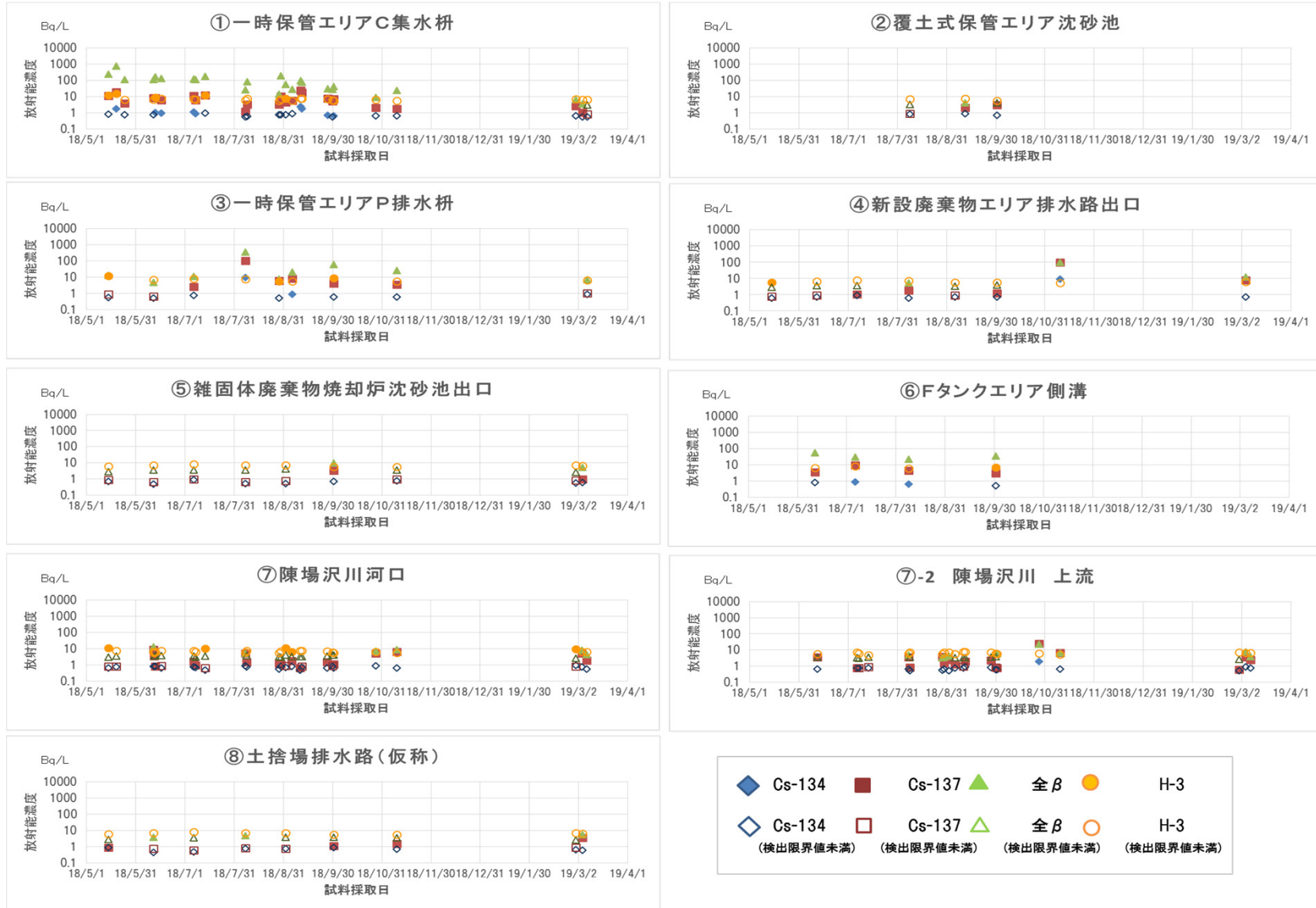


写真5-2 側溝 (作業完了)

## 2. モニタリング状況

2019年2月末から雨が降るようになり、サンプリングを実施しているが、いずれも低濃度。



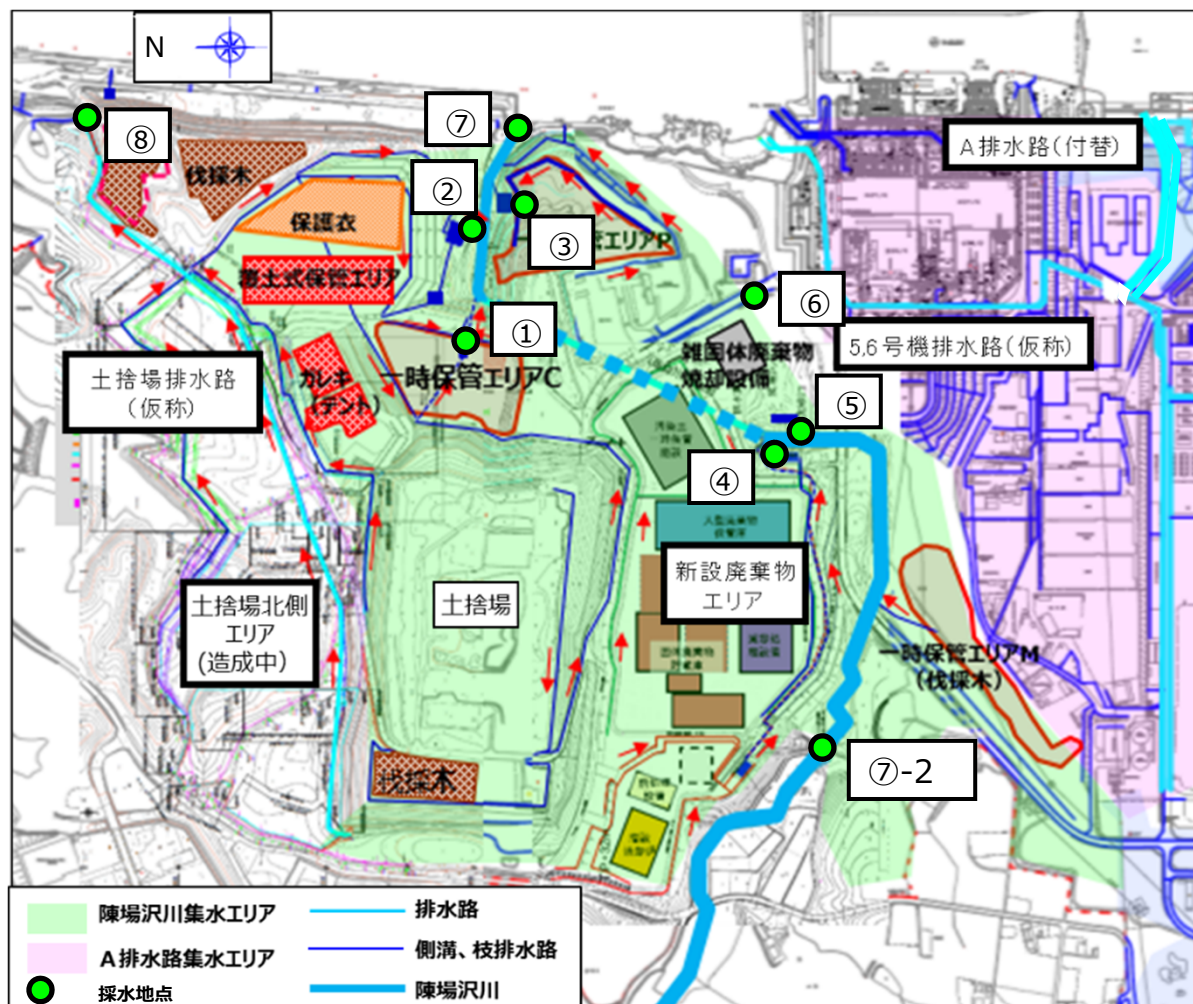
## 参考. 敷地北側における雨水排水のモニタリング計画

- ◆ 2018年5月14日より、敷地北側エリアで自主的なモニタリングを開始。
- ◆ モニタリングの内容については、施設の設置やモニタリング結果を踏まえて見直しを行う。

■ 分析項目：Cs、全β、H-3

■ 採水場所及び頻度（2018年7月～）

採取場所	採取頻度
①一時保管エリアC集水枡	降雨時のみ
⑦陳場沢川河口	
⑦-2陳場沢川上流	
②覆土式保管エリア沈砂池	1回/月 (降雨が無く採水出来ない場合もある)
③一時保管エリアP排水枡	
④新設廃棄物エリア沈砂池出口	
⑤雑固体廃棄物焼却炉	
⑥Fタンクエリア側溝	
⑧土捨場排水路（仮称）	



敷地北側の状況と採水位置図